



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷原 和哉 TEL 0829-55-2112
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 61,712 | 17.0 | 1,894 | △13.2 | 2,315 | △8.9 | 668 | △51.9 |
| 2022年3月期 | 52,729 | — | 2,183 | — | 2,541 | — | 1,391 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期 2,259百万円 (36.1%) 2022年3月期 1,659百万円 (—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 40.58 | — | 3.4 | 4.1 | 3.1 |
| 2022年3月期 | 84.42 | — | 7.4 | 5.0 | 4.1 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。これにより、2022年3月期の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 57,370 | 22,890 | 36.1 | 1,256.20 |
| 2022年3月期 | 54,520 | 21,167 | 35.3 | 1,166.35 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 20,703百万円 2022年3月期 19,222百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 66 | △1,168 | 823 | 6,215 |
| 2022年3月期 | △1,183 | △4,528 | 5,547 | 6,007 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | — | — | — | 22.00 | 22.00 | 362 | 26.1 | 1.9 |
| 2023年3月期 | — | — | — | 22.00 | 22.00 | 362 | 54.2 | 1.8 |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 22.00 | 22.00 | | 20.1 | |

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 37,000 | 7.2 | 2,200 | 43.8 | 2,350 | 34.9 | 1,400 | 140.1 | 84.94 |
| 通期 | 65,000 | 5.3 | 2,700 | 42.5 | 3,050 | 31.7 | 1,800 | 169.1 | 109.21 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期 | 16,490,000株 | 2022年3月期 | 16,490,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期 | 8,768株 | 2022年3月期 | 8,623株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 16,481,335株 | 2022年3月期 | 16,481,651株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|---|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 24,123 | △4.0 | △663 | — | 1,110 | △28.9 | 13 | △99.0 |
| 2022年3月期 | 25,125 | — | 130 | — | 1,562 | — | 1,356 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 0.85 | — |
| 2022年3月期 | 82.33 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前事業年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。これにより、2022年3月期の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 2023年3月期 | 41,740 | 989.98 | 16,316 | 989.98 | 39.1 | 989.98 | 989.98 | |
| 2022年3月期 | 40,731 | 999.37 | 16,471 | 999.37 | 40.4 | 999.37 | 999.37 | |

(参考) 自己資本 2023年3月期 16,316百万円 2022年3月期 16,471百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 15,300 | 13.8 | 1,700 | 35.0 | 1,350 | 76.7 | 81.91 |
| 通期 | 25,000 | 3.6 | 1,650 | 48.6 | 1,300 | — | 78.88 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある事業等のリスクにつきましては、有価証券報告書をご覧ください。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

また、業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 15 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 15 |
| (企業結合等関係) | 15 |
| (セグメント情報) | 15 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

(単位：百万円)

| 指標等 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 増減額 | 増減率 (%) |
|---------------------|---------|---------|-------|---------|
| 売上高 | 52,729 | 61,712 | 8,982 | 17.0 |
| 営業利益 | 2,183 | 1,894 | △288 | △13.2 |
| 経常利益 | 2,541 | 2,315 | △226 | △8.9 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,391 | 668 | △722 | △51.9 |
| 1株当たり当期純利益 | 84円42銭 | 40円58銭 | | |

(当期の国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 増減額 | 増減率 (%) |
|---------|---------|---------|-------|---------|
| 国内 | 28,751 | 27,856 | △895 | △3.1 |
| 海外 | 23,978 | 33,856 | 9,878 | 41.2 |
| 合計 | 52,729 | 61,712 | 8,982 | 17.0 |
| 海外売上構成比 | 45.5% | 54.9% | | |

当連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、ウィズコロナの中で経済活動の回復を期待する動きがある一方、長期化するウクライナ情勢、エネルギー価格の高騰による原材料価格の高止まりなどの影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリーに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、コストダウンや経費の効率的な運用等による利益構造の改革及び海外事業の強化拡大等の課題に努めてまいりました。

その結果、連結売上高は前年同期比17.0%増の617億12百万円（為替変動の影響を除くと13.5%増）となりました。

国内売上は、最盛期の5月・6月の気温が平年より低い日が続き、主力の殺虫剤市場が前年を割り込んだ結果、前年同期比3.1%減の278億56百万円となりました。一方、海外売上は、東南アジア各国の売上が前期を上回ったこと、欧州の連結子会社が連結に加わったことに加え、円貨ベースでは円安の影響を大きく受けた結果、前年同期比41.2%増の338億56百万円（為替変動の影響を除くと33.5%増）となりました。

次に、売上原価は、前年同期比69億6百万円増加し439億71百万円、売上原価率は71.3%となり、前年同期より1.0ポイント増となりました。売上総利益は177億41百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

販管費につきましては、連結子会社が増加したことから人件費などの経費が増加したことに加えて、前期に引き続き原油価格の高騰により運賃コストがアップしたことから運送費が増加した結果、前年同期比17.5%増の158億47百万円となりました。

これらの結果、営業利益は18億94百万円（前年同期比13.2%減）、経常利益は23億15百万円（前年同期比8.9%減）となりました。なお特別損失として役員退職慰労金を計上したことに加えて、連結子会社であるF Sブルーム株式会社へのれんについての減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は6億68百万円（前年同期比51.9%減）となりました。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 増減額 | 増減率 (%) |
|------|---------|---------|-------|---------|
| 殺虫剤 | 39,516 | 48,066 | 8,549 | 21.6 |
| 家庭用品 | 2,308 | 2,280 | △27 | △1.2 |
| 園芸用品 | 4,134 | 4,148 | 14 | 0.3 |
| 防疫剤 | 1,602 | 1,723 | 120 | 7.5 |
| その他 | 5,168 | 5,494 | 326 | 6.3 |
| 合計 | 52,729 | 61,712 | 8,982 | 17.0 |

殺虫剤部門

殺虫剤部門は、国内におきましては、天候条件や前期までの巣籠り需要の反動減などにより、国内の殺虫剤市場の需要が落ち込んだことからシーズンを通じて前年を割り込みました。当社もその影響を受けて売上が減少しました。返品は昨年と比べて減少しましたが、売上高は143億23百万円（前年同期比12億92百万円減、8.3%減）となりました。

一方、海外におきましては、東南アジア各国の売上が前期を上回ったこと、欧州の連結子会社が連結に加わったことに加えて、円貨ベースでは円安の影響を大きく受けた結果、最終的な円貨ベースでは337億42百万円（前年同期比98億42百万円増、前年同期比41.2%増）となりました。

国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は480億66百万円（前年同期比85億49百万円増、21.6%増）となりました。

家庭用品部門

家庭用品部門は、主力のアルコール除菌剤の売上が前期並みとなった結果、家庭用品の売上高は22億80百万円（前年同期比27百万円減、1.2%減）となりました。

園芸用品部門

園芸用品部門は、主力の除草剤の売上が引き続き堅調に推移した一方で、殺虫剤同様に天候条件が悪く、加えて巣籠り需要の反動減があったことから家庭菜園等で使用されている不快害虫用殺虫剤の売上が減少した結果、園芸用品合計の売上高は41億48百万円（前年同期比14百万円増、0.3%増）となりました。

防疫剤、その他の部門

防疫剤部門の売上高は、17億23百万円（前年同期比1億20百万円増、7.5%増）となりました。

その他の部門の売上高は、子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、54億94百万円（前年同期比3億26百万円増、6.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度における総資産額は、28億49百万円増加し、573億70百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1億76百万円、売掛金が24億24百万円、機械装置及び運搬具（純額）が3億円増加した一方で、建物及び構築物（純額）が1億3百万円、のれんが3億56百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、11億27百万円増加し、344億80百万円となりました。主な要因は、短期借入金が16億27百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1億86百万円、返金負債が1億48百万円、長期借入金が1億53百万円、役員退職慰労引当金が2億27百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、17億22百万円増加し228億90百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が2億93百万円、その他有価証券評価差額金が1億93百万円、為替換算調整勘定が9億89百万円、非支配株主持分が2億41百万円増加したこと等によるものであります。

自己資本比率は0.8ポイント増加し、36.1%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【連結キャッシュ・フロー計算書（要約）】

（単位：百万円）

| | 前期 | 当期 | 増減 |
|------------------|--------|--------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,183 | 66 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,528 | △1,168 | 3,359 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,547 | 823 | △4,723 |
| 換算差額 | 195 | 392 | 196 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 30 | 114 | 84 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,976 | 6,007 | 30 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,007 | 6,215 | 208 |

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加し、62億15百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は66百万円（前年同期は11億83百万円の使用）となりました。これは税金等調整前当期純利益が17億15百万円、減価償却費が14億63百万円、売上債権の増加額が21億97百万円、仕入債務の減少額が5億78百万円、法人税等の支払額が4億32百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって使用した資金は、11億68百万円（前年同期は45億28百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が10億64百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって獲得した資金は8億23百万円（前年同期は55億47百万円の獲得）となりました。これは短期借入金の純増減額の増加が15億96百万円、配当金の支払が3億62百万円あったこと等によるものです。なお、当連結会計年度末における借入金残高は、前期末に比べ16億31百万円増加して、158億93百万円となりました。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

| 指標等 | 2023年3月期 | 2024年3月期 | 増減額 | 増減率(%) |
|---------------------|----------|----------|-------|--------|
| 売上高 | 61,712 | 65,000 | 3,287 | 5.3% |
| 営業利益 | 1,894 | 2,700 | 805 | 42.5% |
| 経常利益 | 2,315 | 3,050 | 734 | 31.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 668 | 1,800 | 1,131 | 169.1% |
| 1株当たり当期純利益 | 40円58銭 | 109円21銭 | | |

赤道近くの国々では、蚊が媒介するマラリアやデング熱などの伝染病でいまだに多くの命が奪われています。そこでは、殺虫剤は命を守るために欠かせない必需品です。

当社グループは、「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」という経営理念のもと、殺虫剤、家庭用品、園芸用品をコア事業と位置づけ、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献する商品を提供しています。このことは当社グループの事業そのものがSDGsの目標3.「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」のターゲット3.3「2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。」を実践していることに他なりません。

世界全体が様々な要因によって不確実性を増しており、景気の先行きは見通せない状況のなか、当社グループは経営理念を実現するため、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいります。

これからも、多様なリスクが複雑に絡み合う状況に対し、より柔軟に対応するため、様々な経営課題に取り組んでまいります。

以上により、通期の売上高は650億円、営業利益27億円、経常利益30億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は18億円となる見通しであります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置づけております。利益配分につきましては、業績や将来の事業展開、内部留保等を総合的に勘案しつつ、株主様への安定的かつ継続的な利益還元を努めてまいります。

また、財務体質の強化と経営基盤の強化を図るとともに、研究開発、生産設備、情報機器等の戦略的な投資を積極的に行っていく方針であります。これらは将来にわたる経営体質強化と利益の向上を目指したもので、必ずや株主の皆様への利益還元に貢献するものと考えております。

2023年3月期の期末配当金につきましては、1株について22円を予定しております。

2024年3月期の期末配当金につきましては、期末業績予想を踏まえ、1株について22円を予定しております。なお、中間配当金につきましては、当社は季節商品である殺虫剤の売上構成比が高く、季節によって業績の変動幅が大きいため、期末配当のみを行っております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,742 | 6,919 |
| 受取手形 | 397 | 519 |
| 売掛金 | 13,218 | 15,643 |
| 電子記録債権 | 162 | 174 |
| 商品及び製品 | 7,576 | 7,889 |
| 仕掛品 | 945 | 824 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,617 | 3,406 |
| 返品資産 | 703 | 673 |
| その他 | 1,584 | 2,158 |
| 貸倒引当金 | △21 | △14 |
| 流動資産合計 | 34,926 | 38,193 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 10,590 | 10,945 |
| 減価償却累計額 | △5,075 | △5,533 |
| 建物及び構築物 (純額) | 5,515 | 5,412 |
| 機械装置及び運搬具 | 12,525 | 13,710 |
| 減価償却累計額 | △10,544 | △11,429 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 1,981 | 2,281 |
| 工具、器具及び備品 | 4,469 | 4,698 |
| 減価償却累計額 | △3,819 | △4,147 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 650 | 550 |
| 土地 | 849 | 905 |
| リース資産 | 228 | 233 |
| 減価償却累計額 | △196 | △205 |
| リース資産 (純額) | 31 | 28 |
| 使用権資産 | 1,264 | 1,328 |
| 減価償却累計額 | △486 | △600 |
| 使用権資産 (純額) | 777 | 727 |
| 建設仮勘定 | 317 | 320 |
| 有形固定資産合計 | 10,123 | 10,225 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,420 | 1,064 |
| 商標権 | 987 | 957 |
| その他 | 1,277 | 1,133 |
| 無形固定資産合計 | 3,685 | 3,155 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,937 | 4,867 |
| 繰延税金資産 | 341 | 347 |
| 退職給付に係る資産 | 80 | 29 |
| その他 | 585 | 758 |
| 貸倒引当金 | △160 | △194 |
| 投資損失引当金 | — | △13 |
| 投資その他の資産合計 | 5,784 | 5,795 |
| 固定資産合計 | 19,594 | 19,177 |
| 資産合計 | 54,520 | 57,370 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,486 | 6,299 |
| 電子記録債務 | 2,822 | 2,740 |
| 短期借入金 | 13,535 | 15,162 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 177 | 335 |
| リース債務 | 149 | 131 |
| 未払金 | 3,570 | 3,329 |
| 未払法人税等 | 236 | 318 |
| 賞与引当金 | 620 | 649 |
| 返金負債 | 2,225 | 2,076 |
| 役員賞与引当金 | 81 | — |
| その他 | 569 | 468 |
| 流動負債合計 | 30,475 | 31,512 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 548 | 395 |
| リース債務 | 247 | 221 |
| 繰延税金負債 | 620 | 771 |
| 退職給付に係る負債 | 781 | 653 |
| 役員退職慰労引当金 | 592 | 364 |
| 資産除去債務 | 33 | 33 |
| その他 | 53 | 528 |
| 固定負債合計 | 2,877 | 2,968 |
| 負債合計 | 33,352 | 34,480 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,698 | 3,698 |
| 資本剰余金 | 4,797 | 4,797 |
| 利益剰余金 | 9,149 | 9,442 |
| 自己株式 | △7 | △7 |
| 株主資本合計 | 17,637 | 17,930 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,627 | 1,820 |
| 為替換算調整勘定 | △74 | 915 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 32 | 36 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,585 | 2,772 |
| 非支配株主持分 | 1,944 | 2,186 |
| 純資産合計 | 21,167 | 22,890 |
| 負債純資産合計 | 54,520 | 57,370 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日) | 当連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 52,729 | 61,712 |
| 売上原価 | 37,065 | 43,971 |
| 売上総利益 | 15,664 | 17,741 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費 | 2,699 | 3,068 |
| 広告宣伝費 | 1,940 | 1,877 |
| 販売促進費 | 1,045 | 1,370 |
| 旅費及び交通費 | 300 | 484 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1 | 11 |
| 給料及び手当 | 2,156 | 3,152 |
| 賞与 | 175 | 189 |
| 賞与引当金繰入額 | 356 | 405 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 81 | △19 |
| 退職給付費用 | 150 | 7 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 54 | 57 |
| 減価償却費 | 304 | 472 |
| その他 | 4,215 | 4,769 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 13,481 | 15,847 |
| 営業利益 | 2,183 | 1,894 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 86 | 80 |
| 受取配当金 | 117 | 130 |
| 不動産賃貸料 | 44 | 46 |
| 技術指導料 | 65 | 67 |
| 為替差益 | — | 62 |
| その他 | 136 | 172 |
| 営業外収益合計 | 449 | 560 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 42 | 83 |
| 為替差損 | 26 | — |
| その他 | 22 | 56 |
| 営業外費用合計 | 91 | 139 |
| 経常利益 | 2,541 | 2,315 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | 5 |
| 投資有価証券売却益 | 146 | 0 |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | — | 45 |
| 特別利益合計 | 151 | 51 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 2 | 4 |
| 投資有価証券評価損 | 25 | — |
| 役員退職慰労金 | — | 319 |
| 投資損失引当金繰入額 | — | 13 |
| 減損損失 | — | 314 |
| 特別損失合計 | 27 | 651 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,665 | 1,715 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 918 | 734 |
| 法人税等調整額 | 48 | 24 |
| 法人税等合計 | 966 | 759 |
| 当期純利益 | 1,699 | 956 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 307 | 287 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,391 | 668 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 1,699 | 956 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △728 | 193 |
| 為替換算調整勘定 | 551 | 1,103 |
| 退職給付に係る調整額 | 137 | 5 |
| その他の包括利益合計 | △39 | 1,302 |
| 包括利益 | 1,659 | 2,259 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,279 | 1,879 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 379 | 380 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 3,698 | 4,797 | 8,424 | △6 | 16,913 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | △271 | | △271 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 3,698 | 4,797 | 8,153 | △6 | 16,642 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △395 | | △395 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,391 | | 1,391 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 995 | △0 | 995 |
| 当期末残高 | 3,698 | 4,797 | 9,149 | △7 | 17,637 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 2,356 | △606 | △90 | 1,659 | 1,250 | 19,823 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | — | | △271 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 2,356 | △606 | △90 | 1,659 | 1,250 | 19,552 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △395 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 1,391 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △728 | 532 | 123 | △73 | 694 | 620 |
| 当期変動額合計 | △728 | 532 | 123 | △73 | 694 | 1,615 |
| 当期末残高 | 1,627 | △74 | 32 | 1,585 | 1,944 | 21,167 |

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 3,698 | 4,797 | 9,149 | △7 | 17,637 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △362 | | △362 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 668 | | 668 |
| 連結範囲の変動に伴う剰余 金の増減 | | | △12 | | △12 |
| 連結範囲の変動に伴う為替 換算調整勘定の増減 | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 0 | 293 | △0 | 293 |
| 当期末残高 | 3,698 | 4,797 | 9,442 | △7 | 17,930 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------------|------------------|--------------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 1,627 | △74 | 32 | 1,585 | 1,944 | 21,167 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △362 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 668 |
| 連結範囲の変動に伴う剰余 金の増減 | | | | | | △12 |
| 連結範囲の変動に伴う為替 換算調整勘定の増減 | | △4 | | △4 | | △4 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | 193 | 994 | 4 | 1,192 | 241 | 1,433 |
| 当期変動額合計 | 193 | 989 | 4 | 1,187 | 241 | 1,722 |
| 当期末残高 | 1,820 | 915 | 36 | 2,772 | 2,186 | 22,890 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,665 | 1,715 |
| 減価償却費 | 1,224 | 1,463 |
| 減損損失 | — | 314 |
| のれん償却額 | 87 | 149 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 48 | △144 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △11 | 13 |
| その他の引当金の増減額 (△は減少) | △2 | △290 |
| 受取利息及び受取配当金 | △203 | △211 |
| 支払利息 | 42 | 83 |
| 為替差損益 (△は益) | 0 | 8 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 25 | — |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △146 | △0 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | △2 | △1 |
| 受取保険金 | △0 | △2 |
| 役員退職慰労金 | — | 319 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △188 | △2,197 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,763 | 364 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,192 | △578 |
| 返品資産の増減額 (△は増加) | 30 | 30 |
| 返金負債の増減額 (△は減少) | 33 | △151 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △942 | △408 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △43 | △616 |
| その他 | 679 | 598 |
| 小計 | 339 | 458 |
| 利息及び配当金の受取額 | 204 | 209 |
| 利息の支払額 | △42 | △81 |
| 保険金の受取額 | 0 | 2 |
| 役員退職慰労金の支払額 | — | △89 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △1,685 | △432 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,183 | 66 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | △112 | 39 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,345 | △1,064 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 16 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △14 | △45 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2 | △2 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 237 | 1 |
| 子会社株式の取得による支出 | △2,667 | — |
| 非連結子会社株式の取得による支出 | △344 | — |
| 事業譲受による支出 | △212 | — |
| 関係会社株式の取得による支出 | △25 | — |
| 貸付金の回収による収入 | — | 24 |
| その他 | △40 | △138 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,528 | △1,168 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 6,145 | 1,596 |
| 長期借入れによる収入 | — | 141 |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △192 |
| リース債務の返済による支出 | △83 | △185 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 自己株式の処分による収入 | — | 0 |
| 配当金の支払額 | △395 | △362 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △118 | △173 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,547 | 823 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 195 | 392 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 30 | 114 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,976 | 6,007 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 93 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,007 | 6,215 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合における暫定的な会計処理の確定

2021年12月31日に行われたZapi Industrie Chimiche S.p.A.及びTrezeta Immobiliare S.r.L.との企業結合において、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初の配分額の重要な見直しが反映しております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,471百万円は、会計処理の確定により1,116百万円減少し、354百万円となっております。

また、前連結会計年度末はのれんが994百万円減少し、製品及び商品が44百万円、建物及び構築物が521百万円、無形固定資産の商標権が464百万円、その他無形固定資産が715百万円、繰延税金負債が159百万円、非支配株主持分が139百万円それぞれ増加し、投資その他の資産のその他が452百万円減少しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、家庭用品、園芸用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「東南アジア」、「欧州」の3つを報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度末より、Zapi Industrie Chimiche S.p.A.、当連結会計年度より、FUMAKILLA EUROPE S.R.L.をそれぞれ連結範囲に含めたことに伴い、報告セグメント「欧州」を追加しております。この報告セグメントの変更が前連結会計年度のセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場の実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|--------|----|--------|------------|--------|
| | 日本 | 東南アジア | 欧州 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 29,708 | 22,084 | — | 51,793 | 936 | 52,729 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,060 | 1,755 | — | 3,815 | — | 3,815 |
| 計 | 31,769 | 23,839 | — | 55,609 | 936 | 56,545 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 19 | 1,851 | — | 1,871 | △57 | 1,813 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|--------|-------|--------|------------|--------|
| | 日本 | 東南アジア | 欧州 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 29,044 | 24,127 | 7,231 | 60,402 | 1,310 | 61,712 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,091 | 1,774 | — | 3,865 | — | 3,865 |
| 計 | 31,135 | 25,901 | 7,231 | 64,268 | 1,310 | 65,578 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △478 | 1,770 | 318 | 1,610 | △20 | 1,590 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

| 利益 | 前連結会計年度 (百万円) | 当連結会計年度 (百万円) |
|---------------------|------------------|------------------|
| 報告セグメント計 | 1,871 | 1,610 |
| 「その他」の区分の利益又は損失 (△) | △57 | △20 |
| セグメント間取引消去 | 369 | 303 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 2,183 | 1,894 |

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

「日本」セグメントにおいて、有形固定資産、無形固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、316百万円であります。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| (1) 1株当たり純資産額 | 1,166.35円 | (1) 1株当たり純資産額 | 1,256.20円 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 84.42円 | (2) 1株当たり当期純利益 | 40.58円 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 1,391 | 668 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 1,391 | 668 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 16,481 | 16,481 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。